

平成19年度

予算の概要

梅谷市長は、施政方針に基づいて編成した平成19年度各会計予算案を、養父市議会に提案しました。

議会審議の結果、全予算案とも可決され、一般会計と特別会計、企業会計を合わせた予算総額は327億1788万円となりました。

平成19年度予算は、一般会計178億8600万円（前年度比7.7%減）、特別会計141億5446万円（同3.1%減）、企業会計6億7742万円（同1.0%減）、総額327億1788万円（同5.6%減）となりました。

◎主な歳入の見込み

■市税は、三位一体改革による税源移譲、法人税割の伸びなどによって、対前年度比で約3億7000万円の伸びとなりました。

■国・県からの各種譲与税と交付金は、税源移譲等によって、対前年度比約2億3000万円の減額となりました。

◎歳出の抑制

【建設事業の抑制】

統合中学校の整備など喫緊の行政課題に対応する事業費を除き、行政改革大綱に沿って建設事業を抑制しました。

【地方債残高の抑制と公債費負担の軽減】

地方債（借金）発行額を16億円に圧縮し、これを上回る33億円を返済します。このうち、財政調整基金の取り崩しを財源として高利率等の地

方債の繰上償還を行い、公債費（借金の返済金）負担を軽減します。

【職員数の削減】

■一般職員Ⅱ退職者の補充を抑制し、11人を削減。

■臨時・嘱託職員Ⅱ公民館を除いた臨時事務補助職員を全廃し、23人を削減。

【給与の減額】

■議会議員Ⅱ報酬10%カット（継続）

■市長・助役・教育長Ⅱ報酬10%カット（継続）、期末手当0.2月分カット（新規）

■一般職員Ⅱ期末手当0.2月分カット（新規）、住居手当（持ち家）約30%カット（新規）、管理職手当（部長・課長・副課長級）約20%カット

～各会計予算額～

区 分		予算額
一般会計 ①		178 億 8600 万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	31 億 8730 万円
	南谷診療所特別会計	1 億 550 万円
	養父歯科診療所特別会計	5350 万円
	老人保健特別会計	41 億 6910 万円
	介護保険特別会計	29 億 3730 万円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	447 万円
	土地取得特別会計	1249 万円
	簡易水道事業特別会計	12 億 7380 万円
	下水道事業特別会計	24 億 1100 万円
	小計 ②	141 億 5446 万円
企 業 会 計	水道事業会計	3 億 6484 万円
	氷ノ山国際スキー場事業特別会計	1 億 8290 万円
	農業共済事業特別会計	1 億 2968 万円
	小計 ③	6 億 7742 万円
合 計 (①+②+③)	327 億 1788 万円	

～予算額の推移～

